

平成 22 年 3 月 3 日 HP 公開 (3 月 8 日画像更新)

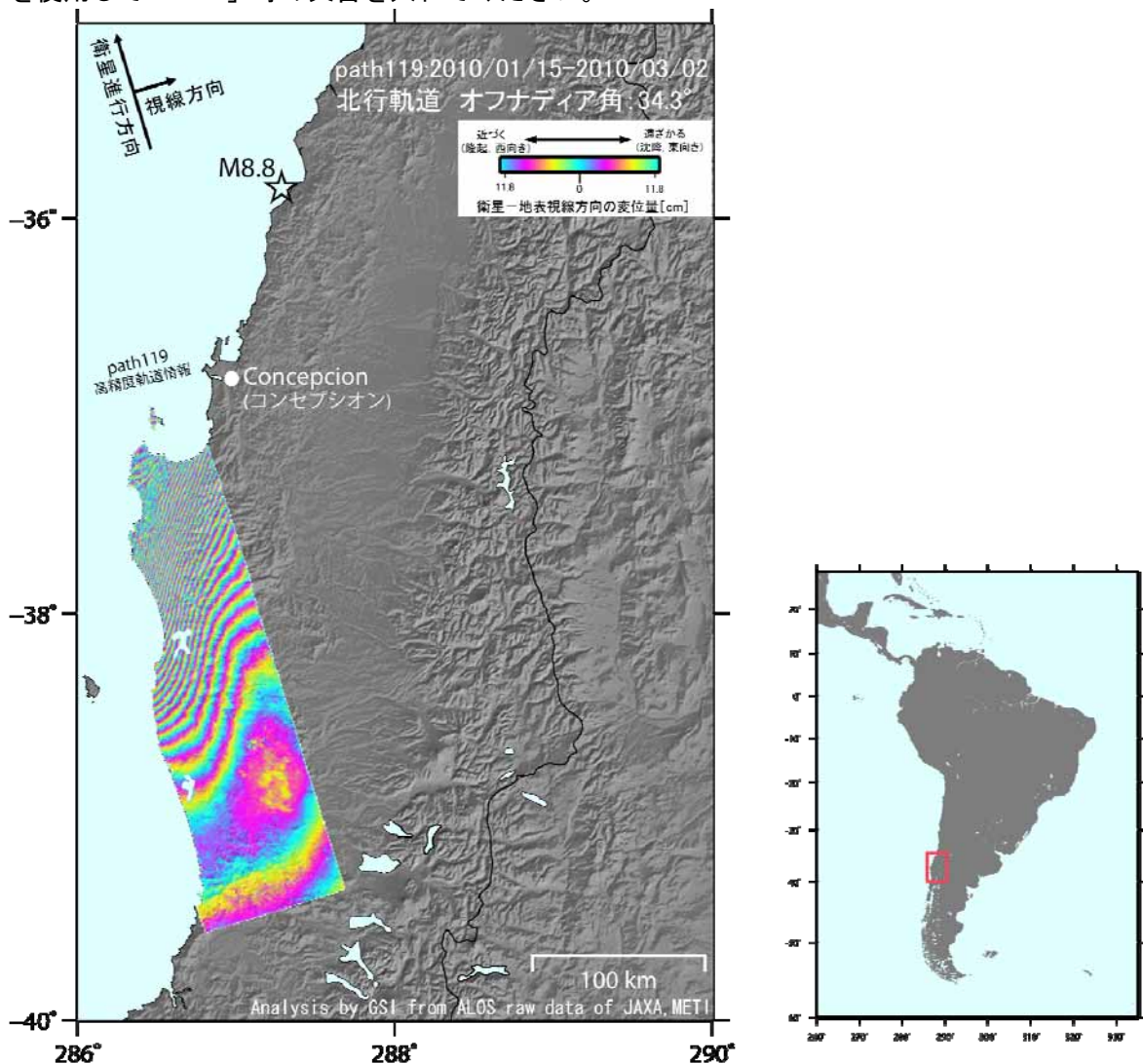
2010 年 2 月 27 日チリ共和国の地震に伴う SAR 干渉画像の公開について

2 月 27 日午前 3 時 34 分 (日本時間 27 日午後 3 時 34 分) に南米チリ中部沿岸で発生した大規模な地震 (マグニチュード 8.8) に伴い、陸域観測技術衛星「だいち」 (宇宙航空研究開発機構: JAXA) が観測した合成開口レーダー (PALSAR) データを用いた SAR 干渉画像を公開しました。この画像では、大地震に伴う地殻変動の一部を面的に捉えています。また、この画像からは、衛星視線方向におよそ 4 m の衛星に近づく向き (陸地、西向き) の地殻変動があったことが分かります。なお、今後データが追加され次第、順次更新していく予定です。

国土地理院干渉 SAR ホームページ 干渉 SAR 成果

http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/sar/result/sar_data/urgent/20100227_chile.html

PALSAR データの SAR 干渉画像を引用する際は、画像に「Analysis by GSI from ALOS raw data of JAXA, METI」またはこのようなクレジットを明記してください。なお、英文表記が不適な記事の場合は、画像の傍に「国土地理院提供」、本文に「日本の地球観測衛星「だいち」のデータを使用して・・・」等の文言を入れてください。



この干渉画像は、電波伝播遅延が不均一である影響を受けている可能性があります。

国土地理院